

中学校区域ごとの量の見込み（教育・保育の量の見込み） まとめ

1号認定（教育標準時間認定）とは「満3歳以上の未就学児（2号認定を除く）」で利用できる施設は「幼稚園、認定こども園」

2号認定（保育認定）とは「満3歳以上で保護者が「保育を必要とする事由」に該当し、保育を必要とする子ども」で利用できる施設は「保育所、認定こども園、小規模保育事業所」

3号認定（保育認定）とは「満3歳未満で保護者が「保育を必要とする事由」に該当し、保育を必要とする子ども」で利用できる施設は「保育所、認定こども園、小規模保育事業所」

区域	▲(不足)の有無	対応
第一中学校	なし	
第二中学校	あり	令和7年度に2号が2名不足するが、その後は満たせる見込み。
第三中学校	なし	
第四中学校	あり	2号、3号が不足しているが、隣接する第三中学校区域、湖南中学校区域、湖東中学校区域において、それぞれの中学校区域の2号、3号は満たしていることから、これらの区域において吸収できるものと考えられる。
湖南中学校	なし	<u>校区内の不足はない見込みだが、隣接する玉湯学園区域は近年の人口増により2号、3号が不足していることから、提供体制については玉湯学園区域の状況を見ながら、増やすことも検討する必要がある。</u>
湖東中学校	なし	
本庄中学校	なし	
湖北中学校	あり	2号、3号が不足しているが、隣接する第一中学校区域で吸収できるものと考えられる。
鹿島中学校	なし	
八雲中学校	なし	
八束学園	あり	本区域には幼稚園や認定こども園がないことから、見込まれる1号は、保育所での「特別利用保育（※）」を実施するなど提供体制を確保する（1号および教育利用希望で15名程度増）。3号についても不足することや隣接する地域も距離があることから、提供体制の確保を目指す（3号10名程度増）。
玉湯学園	あり	2号、3号が不足することや、隣接する湖南中学校区域や宍道中学校区域も「残る枠が比較的少ない」もしくは「不足している」ことから、提供体制の確保を目指す（2号70名程度増、3号10名程度増）。

区域	▲(不足)の有無	対応
宍道中学校	あり	令和7年度に3号が3名不足するが、その後は満たせる見込み。ただし隣接する玉湯学園区域が「不足している」ことから、提供体制を増やすことも検討する必要がある。
島根中学校	あり	本区域には幼稚園や認定こども園がないことから、1号は、保育所での「特別利用保育(※)」を実施し提供体制を確保する。
美保関中学校	あり	本区域には幼稚園や認定こども園がないことから、1号は、保育所での「特別利用保育(※)」を実施し提供体制を確保する。
東出雲中学校	なし	

※特別利用保育とは1号認定(幼稚園に入所の対象)の園児が、在住する地域に幼稚園がなく、かつ、その地域の保育所に空き枠がある場合、特例的に保育所に入所できる措置

※2号のうち「教育利用希望」は、幼稚園における預かり保育の実施により提供体制を確保

新たな提供体制の確保を目指す地域と数

八束(1号15名、3号10名)、玉湯(2号70名、3号10名)

新たな提供体制の確保について検討する地域

湖南(2号、3号)、宍道(2号、3号)